

★最新介護医療情報★

【インフルエンザ 18-19】2か月以上早い集団発生、東京・愛知・栃木など

今シーズン最初のインフルエンザによる学年閉鎖が2018年9月1日に大分県で報告された。茨城県や栃木県、愛知県、東京都などでも学級・学年閉鎖が報告されており、例年よりも2か月以上早く発生している。今後、感染拡大が懸念される季節を迎えることから、感染予防に努めたい。

厚生労働省が発表したインフルエンザの定点あたり報告数は、2018年第36週(9月3日から9月9日)が0.07。保育所・幼稚園・小学校・中学校・高校でインフルエンザにより学年閉鎖・学級閉鎖があった都道府県と初発日は、大分県(9月1日)、茨城県(9月4日)、栃木県(9月4日)、愛知県(9月7日)。

東京都では、江戸川区内の小学校が9月11日から9月14日に学級閉鎖の措置をとった。9月10日時点で、2年生の4学級のうち1学級で在籍児童数32人中、14人が発熱などで欠席した。

山形県では、上山市内の保育園で全園児数130人のうち、9月11日時点で10人がインフルエンザに罹患し欠席した。昨シーズンの集団発生の初発が2017年11月28日だったことから、今シーズンは2か月以上早く発生している。

厚生労働省によると、日本では例年12月から3月がインフルエンザの流行シーズンとされる。季節性インフルエンザは流行性があり、いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が広がる。インフルエンザにかからないためには、流行前のワクチン接種や外出後の手洗い、適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取などが有効な方法としてあげられる。

「風疹」全国流行止まらず 去年1年間の約7倍に(テレ朝 news H30.9.26 配信)

風疹の感染拡大が続いています。全国の患者数は642人となり、去年1年間の患者数の約7倍に上ることが分かりました。

国立感染症研究所によりますと、16日までの1週間で国に報告された風疹の患者数は127人で、2週連続で100人を超えました。東京や千葉などの首都圏や愛知などで患者が増加したほか、愛媛と滋賀でも今年初めて報告されるなど、これまでに36の都道府県で患者が確認されています。今年の患者数は642人で、このうち男性が8割を占めていて、なかでも30代から50代が多いということです。厚生労働省は今後、妊娠する可能性がある女性や妊婦の家族などは必要に応じて予防接種を受けるよう呼び掛けています。



地域ルピナス講習会のお知らせ

第61回東大阪地域リハビリ勉強会

⇒呼吸リハビリテーションについて

開催日：平成30年11月15日(木)

時間：午後6時00分～午後7時00分

場所：東大阪市立東体育館 第三研修室

講師：ルピナス理学療法士 塚本征宏



第21回城東地域リハビリ勉強会

⇒認知症とリハビリテーション

開催日：平成30年11月17日(土)

時間：午後6時00分～午後7時00分

場所：城東区民センター 小会議室3

講師：ルピナス理学療法士 井上直大

第32回忠岡地域リハビリ勉強会

⇒ケアマネジャーの定期訪問時に役立つ
動作指導について

開催日：平成30年11月16日(金)

時間：午後6時30分～午後7時30分

場所：忠岡町文化会館 3階会議室

講師：ルピナス理学療法士 今井貴敏

